

すぎなみ大人“熟”してる？

Jukusiteru? TIMES'15

第10号

平成27年10月3日発行
発刊元：塾熟出版（事務局）

東京都杉並区梅里 1-22-32(社会教育センター内) TEL 3317-6621 FAX 3317-6620

大人のまちの楽しみ方

アソビバージョン + ONE

第9回

遊びで、住むまちをジモトにできるだろうか？

9月26日

アソビバージョンコース
受講生12名

① 地元って？・・・朝の連ドラ、オフコースの歌、マイフェアレディから学ぶ ♪



連休明けの講座。今回は受講生が少なく、前回の「アソビ不動産新人研修」の発表は延期。そこで、「皆にとって地元とは？」をまず考えてみた。広石さんが愛してやまない「あまちゃん」の挿入歌「地元へ帰ろう」が流れる中、受講生に聞いたところ、生まれてただ住んでいる所でなく、自分が深くかかわった、知り尽くしている、心ひかれる物や人がいる、そんな「思いが詰まったところ」が地元では？という発言が相次いだ。（マイフェアレディやオフコースの歌詞中にも同内容があることを実証！）そして放課後の時間が、地元感を創りだす・・・つまり、みんなで遊んだ思い出がその土地への思いを高めるのだ。次回からの「遊びのストリート」では、そんな経験を受講生に積み重ねてもらいたい、と広石さんは話す。

② Stranger と出会おう！・・・「遊びのストリート」を計画する時の心得

「遊びのストリート」でのルールのひとつは、「Stranger と出会い、関係性をつくろう」ということだ。テーマや仕事で結びつくと、Stranger とはなかなか出会えない。その突破口こそ「遊び」なのである！僕と君の関係性の上に、さらに一人を重ねる。それが地元にかかわるということなのでは？さて、Stranger と出会う意味って何なのだろうか？答えは次の齊藤さんの話にあり。（湊）



今日来た方は
お得です！

③ 『「わたしのこと」から「まちのこと」をつくる』・・・齊藤さんが行っている「おたがいさま食堂」の話



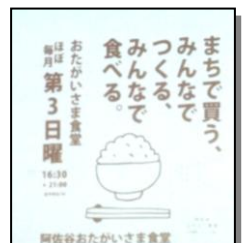
齊藤さんの活動のスタートは、お子さんと二人で食べている食事に行き詰まりを感じたこと。10人メンバーがいて、10日に一回10人分のご飯を作ればあとの9日は食べるだけ！というキッチンがあったら！という、齊藤さんの野望から始まった。このように、まず自分のことからスタートし、人のことへと進めて、まちのことにすこしずつ広めていくことがポイントだ。では、その自分のことが、まちのことになっていく境目には何があるのか？これはそこに「公共的なものがあるか」という。 **公 - 公共 - 私** 公共が生まれるためには、立場が違った人＝Stranger が集まること（同じ仲間だと、コミュニティになってしまう）。そして立場が違う人だからこそルールが必要になる。このプロセスが、公共なのだ。今、まち食として注目されているこの企画を通して、齊藤さんがあげている実践の「コツ」は下図。この「コツ」をヒントにして、私+アナタの遊びをまちに広げていこう。合言葉は「ご一緒にいかがですか？」。

- 1. 得意なことだと、ずっと提供する側になってしまう。他の人の得意を引き出せるように
- 3. Stranger に会うために目的的でなく自由な名前を
- 5. 私のことって押し付けない
- 7. 自分の目的に合わせない。「ご一緒にいかがですか？」そして楽しもう！

「わたしのこと」を「まちのこと」にするコツ

- 1. むしろ苦手なことをやる
- 2. 簡単なルールにする・定期的にする
- 3. イケてる名前をつける/場を代弁する
- 4. いちばんやりたいことは「2番目」にする
- 5. 関わる人を「活かす」
- 6. 仲間と一緒に、失敗し続ける・いつも実験中
- 7. プロセス自体を楽しむ

- 2. グランドルール 大まかなルール 1回で終わらせない
- 4. ちょっと目的にずれた所に着地（遊びの要素）。目的にならないように
- 6. 色々な人と一緒にいっぱい失敗をする。アイデアを出し合う



だがしや楽校deワクワク大作戦 ゆるく楽しく地域とつながろう

第10回 杉並だがしや仲間大集合 作戦会議①

だがしや楽校コース
9月19日
参加者18名



実りの秋を感じながら… だがしや楽校作戦会議

今回は、山梨から参加の日野原さんから巨峰の差し入れが！ご自身の住むまちの恵みを生かした、美味しい美味しい自分みせた。巨峰をいただきながら、第2回だがしや楽校に向けての話し合いが行われた。

第2回だがしや楽校の舞台となるのは、特別養護老人ホームのマイルドハート高円寺。高齢者福祉施設でのイベントという、どうしても慰問のようなものを考えがちだが、ここはだがしや楽校。自分・相手・社会が「三方よし」になることが大切、という松田先生のお考え方を谷原さんが紹介。それをヒントに、みせ開き企画を考えていく。

巨峰は収穫した翌日が一番おいしいのだとか。種なしで食べやすく、とてもジューシー！ありがとうございます♪



本日の日直：早内さん

だがしや楽校 in マイルドハート高円寺 タイムスケジュール案

- 12:30 開店準備
- 13:30 入居者お迎え
(必要に応じて車椅子対応)
- 14:00 だがしや楽校本番！
- 15:30 お見送り
(必要に応じて車椅子対応)

「三方よし」のだがしや楽校をめざして

とはいえ、特別養護老人ホームは様々な配慮が必要なことも事実。今回は、はじめの一步ということで、原則は施設入居者とその家族と一緒に楽しむ、だがしや楽校を考えることになった。タイムスケジュール案と内容案は左記の通り。次回は、みせの内容をさらに詰めるとともに、施設で配ってもらうチラシづくりにも着手する予定だ。

入居者は、できることが決して多くない。その中でいかに「してあげる」にとどまらない、自分、入居者、施設が「三方よし」の相互関係をつくることができるのか？ 試行錯誤は続く…。(文：遠藤)



《みせ開き企画 (9/19 時点)》

テーブルでカンカン倒し／アロマクラフト (ワークショップ or 配布?) / 写真館 / IT 体験 etc...

◆ 大人塾に参加中のオトナたちに聞く (①出身 ②座右の銘・好きな言葉 ③自分のつながり PR)

ア 加藤 葉子(よーこ)

- ① 茨城県
- ② (やらずに後悔するより) 「やって後悔！」
- ③ 子育てママ支援「ひめまま」という名前で、月1回イベントをしています。(主人と(笑))

だ 原田 佐和子

- ① 東京 杉並区！
- ② 「ムリはよくない！」つまり、頑張りすぎない、ということ。
- ③ 子どもが楽しめる工作などのアイデアはいっぱい持っています。広く浅く…が長所であり、短所でもあり。よろしくお願いします。

ア 前川 心(LeZe)

- ① OSAKA ♪
- ② そんなものないです！！
- ③ うわあああ〜つ。朝で頭が回らないけど、気分が良ければ文章が上手らしい。

だ 檜枝 光太郎

- (“ひえだ”と読みます。ルーツは佐賀県)
- ① 東京都・杉並区
- ② 一期一会
- ③ 教員をしていたので、教育には関心があります。